

ぶんり

* 入学試験のご案内

●入試日程(大学・短大部・専門)

試験区分	出願期間(必着)	試験日	試験会場	合格発表	入学手続締切日 1回目 2回目
推薦入試(公募制)(指定校)	10/19(月)~10/29(木)	11/6(金)・7(土)(自由選択) 11/6(金)	本学 浜松・津・富山・松本・金沢・東京	11/12(木)	11/25(水) 12/10(木)
一般入試I期	1/12(火)~1/25(月)	1/29(金)・30(土)(自由選択) 1/29(金)	本学 浜松・津・富山・松本・金沢・東京	2/5(金)	2/16(火) 2/25(木)
一般入試II期	2/5(金)~2/15(月)	2/20(土)	本学	2/25(木)	3/10(水)(一括納入)
一般入試III期	2/23(火)~3/8(月)	3/12(金)	本学	3/16(火)	3/26(金)(一括納入)
「センター試験」利用入試I期	1/18(月)~2/9(火)	個別学力試験は課さない		2/18(木)	2/26(金) 3/10(水)
「センター試験」利用入試II期	2/23(火)~3/5(金)	個別学力試験は課さない		3/12(金)	3/26(金)(一括納入)
特別入試II期*	2/5(金)~2/15(月)	2/20(土)	本学	2/25(木)	3/10(水)(一括納入)

*特別入試II期: 社会人、帰国生徒、外国人留学生、フードビジネスあつぎ奨学、PR学科町おこし奨学 ※健康栄養学科は実施しません

試験区分	エントリーシート提出期間	面談日	出願期間(必着)	合格発表	入学手続締切日
AO入試	11/25(水)~12/9(水)	12/12(土)	12/15(火)~12/21(月)	12/25(金)	1/13(水)
※健康栄養学科は実施しません	2/3(水)~2/16(火)	2/20(土)	2/24(水)~3/2(火)	3/5(金)	3/15(月)
	2/24(水)~3/10(水)	3/12(金)	3/17(水)~3/23(火)	3/25(木)	3/31(水)

試験区分	出願期間(必着)	試験日	試験会場	合格発表	入学手続締切日 1回目 2回目
推薦選抜A	10/13(火)~10/27(火)	10/31(土)11/1(日)(自由選択) 10/31(土)	本学 浜松・津 富山・松本・金沢	11/5(木) 11/10(火)	11/24(火) 1/12(火)
指定校推薦	10/13(火)~10/27(火)	11/1(日)	本学	11/5(木)	11/24(火)(一括納入)
推薦選抜B	11/18(水)~12/1(火)	12/5(土)	本学	12/10(木)	12/21(月) 1/12(火)
試験選抜A	1/8(金)~1/19(火)	1/28(木)・29日(金)(自由選択) 1/29(金)	本学 浜松・津・富山・松本・金沢	2/4(木)	2/15(月) 3/9(火)
試験選抜B	2/24(水)~3/9(火)	3/13(土)	本学	3/18(木)	3/25(木)(一括納入)
特別選抜B*	2/8(月)~2/16(火)	2/20(土)	本学	2/25(木)	3/9(火)(一括納入)
「センター試験」利用選抜I期	1/19(火)~2/4(木)	個別学力試験は課さない		2/12(金)	2/22(月) 3/9(火)
「センター試験」利用選抜II期	3/5(金)~3/12(金)	個別学力試験は課さない		3/24(水)	3/31(水)(一括納入)
西区近郊社会人	3/8(月)~3/16(火)	3/20(土)	本学	3/24(水)	3/31(水)(一括納入)

*特別選抜B: 自己推薦、社会人、同窓会会員関係者、支援付社会人(介護福祉学科のみ)

試験区分	出願期間(必着)	試験日	試験会場	合格発表	入学手続締切日 1回目 2回目
選抜試験2期	10/13(火)~10/27(火)	10/31(土) 10/31(土)	本学 浜松・津	11/5(木)	11/24(火) 1/12(火)
選抜試験3期	11/18(水)~12/1(火)	12/5(土)	本学 富山・松本・金沢	11/10(火)	12/10(木) 12/21(月) 1/12(火)
選抜試験4期	1/8(金)~1/19(火)	1/29(金) 1/29(金)	本学 浜松・津・富山・松本・金沢	2/4(木)	2/15(月) 3/9(火)
選抜試験5期	2/8(月)~2/16(火)	2/20(土)	本学	2/25(木)	3/9(火)(一括納入)
選抜試験6期	2/24(水)~3/9(火)	3/13(土)	本学	3/18(木)	3/25(木)(一括納入)
選抜試験7期	3/8(月)~3/16(火)	3/20(土)	本学	3/24(水)	3/31(水)(一括納入)

●学納金の減免制度(平成22年度入試) *大学と短大部では、入試時に以下のような制度があります。

試験区分	対象者	対象学科	人数	特典
一般入試I期	成績上位者(得点150点以上)	健康栄養学科 フードビジネス学科 情報メディア学科 PR学科	3名 3名 5名 3名	2年間授業料 半額免除
特別入試II期(フードビジネスあつぎ奨学入試)	フードビジネス業界の健全な発展を図る人材育成のため、食品製造業・食品流通業・外食産業などの企業に就職することを希望している者	フードビジネス学科	若干名	入学金免除
特別入試II期(PR学科町おこし奨学入試)	PRを学び、卒業後は地元に戻って地域社会を活性化したいと考えている者	PR学科	若干名	入学金免除

試験区分	対象者	金額	人数	特典
特別選抜B(同窓会会員関係者入試)	本学同窓会(名栄会・稲友会)の会員、準会員の2親等以内の者	食物栄養学科 栄養士専攻 食物栄養学科 製菓専攻 介護福祉学科	各学科 若干名	入学金の半額を 奨学金として付与
特別選抜B(支援付社会人入学試験)	介護福祉士として勤労意欲を持った社会人	介護福祉学科	若干名	入学金の半額を 奨学金として付与

注) 介護福祉士奨励金制度 介護福祉学科では、「推薦選抜A、B、試験選抜」の各入学試験において、学力優秀、将来性等を審議して合格者の20%を限度として1年次前期授業料を奨学金として付与する制度があります。

◎名古屋文理大学、名古屋文理大学短期大学部、名古屋文理栄養士専門学校は姉妹校として、卒業後に入学する場合、入学時の納付金優遇制度があります。詳細につきましては、各校の入試広報課へお問い合わせください。

★資料請求・お問い合わせ
名古屋文理大学 入試広報課 TEL:0587-23-2400(代) E-mail:kouhouka@nagoya-bunri.ac.jp
名古屋文理大学短期大学部 入試広報課 TEL:052-521-2251(代) E-mail:nyusi@nagoya-bunri.ac.jp
名古屋文理栄養士専門学校 入試広報課 TEL:052-521-2251(代) E-mail:nyusispe@nagoya-bunri.ac.jp

編集後記

卒業生のみならず、在学生とその保護者のみならず向けコミュニケーション誌「ぶんり」は、名古屋文理大学の“いま”を伝えることによって、大学との“つながり”をいつまでも持ち続けてもらうことを目的としています。創刊号ということもあって、内容やレイアウト、掲載記事を試行錯誤的に作成しました。今後は、多数の方からの意見を聴取し、改良をしていきますのでご協力のほど、よろしくお祈りします。発行にあたり、お忙しい中、原稿執筆をお引き受け頂きましたみなさまに感謝致します。

ぶんり編集室

募集します!

みなさんからのメッセージをお寄せください!

『ぶんり』は卒業生のみならずを誌面でつなぐコミュニケーション誌です。

- ◆「ぶんり」への感想をお寄せください。
 - ◆「ぶんり」でこんなものを読みたい、知りたいというリクエスト
 - ◆卒業生同士の交流の呼びかけや近況報告など
- E-mailやお便りでお送りください。

ぶんり編集室 E-mail:b-hensyu@nagoya-bunri.ac.jp
お便り:〒492-8520 愛知県稲沢市稲沢町前田365 名古屋文理大学 ぶんり編集室

2009.OCTOBER VOL.01 2009年10月25日発行
発行/名古屋文理大学PR企画課 〒492-8520 愛知県稲沢市稲沢町前田365

TEL/0587-23-2400(代) FAX/0587-21-2844

名古屋文理大学 / 名古屋文理大学短期大学部 / 名古屋文理栄養士専門学校



活躍する卒業生 第1回

株式会社エスケイワード
杉田 奈未穂
NAMIHO SUGITA

名古屋文理大学 情報文化学部 情報メディア学科
平成20年度卒

大学での色々な実践の場が、私の意識を変えた

名古屋文理大学に入って、意識が変わったと思うのは、稲沢市内の小学生にパソコンの授業を実習する「小学校での情報教育」でした。当然子どもに接し、先生方も接します。実習を行うために、さらに多くの方と接します。こうしたいろいろな世代の人との接点は、私が苦手としていた人付き合いや、段取りを大きく修正してくれました。それに漠然と「情報メディアをやりたい」という気持ちから「教育システムを作りたい」という明確な目標を持つようになりました。そういう経験から、稲沢市のHPの作成に携わったり、様々な学会で発表したり、学内コンテストに参加したりと、とにかく、少しでも興味があることは、とことんやってみようになりました。このような活動が就活の時の自分の「芯」になって、面接などに大きな力になってくれました。

新しいことへの挑戦を続けていきたい

今の会社では、Webを通して、いろいろな人と一緒にモノを作り上げていますが、常に新しいことに挑戦し、学ぶ姿勢を持ち続けたいと思っています。情報メディアの世界は、常に変化し続けていますし、まだまだ可能性のある領域でもあります。そういう意味では、自分だけ立ち止まっているわけにはいかないと思い、少しでも興味のあるものはととん深く学んで、吸収していかなくてはと思っています。それから、もちろんたくさんの人との仕事も楽しみたいですが、いつかは、「杉田にしかできない」「杉田にまかせておけば大丈夫」と言われるような仕事ができるようになればと思っています。やはりやるからには誰にも負けたくないですから。

株式会社エスケイワード

〒461-0001 名古屋市中区泉1-9-22 名古屋BXビル2階
TEL 052-953-7161(代) FAX 052-953-7163

【事業内容】

Webソリューション(webサイト作成)、マルチリンガルサービス
ドキュメント&パブリッシングサービス、コンサルティングサービス



創刊に寄せて

「ぶんり」とは、「文科・理科を併せ持つ大学」を意味するとともに、「物事の節目」を意味します。文理の名称がついた昭和63年ごろを振り返ると、当時は栄養学、家政学、情報処理学、経営学等を有する、全国的にも稀な総合短期大学の時期でした。本学は次の飛躍のために、大きな希望を胸に抱いて「ぶんり」と名乗ったのでしょう。それから早くも20年以上の年月が流れました。未だに「西区の栄養の学校」と呼ばれることは稀ではありませんが、日本がチャレンジしている今だからこそ、文理にも新しい節目が必要です。その起点に不可欠なのが、3万人におよぶ卒業生が社会で得た「経験」と、1800人の現役学生の持つ「若さ」です。昨今社会的格差が広がっていると云われますが、歴史を振り返ると差が存在しなかった時代はありません。異なる人と人が調和し、心豊かに過ごすために、先達は叡智を巡らしてきたのです。卒業生には、最新技術や高度な専門を学び直す中で、若者から溢れんばかりのパワーを吸収してほしい。また現役学生には、机上で学んだことを社会や実生活とつなげるために、卒業生の経験を生かしてほしい。「年齢や経験に差はあるが、求めるもの同士が切磋琢磨する中で、新しい叡智を獲得する場」。これこそ私が求める次の大学の姿です。



理事長・学長
滝川 嘉彦
TAKIKAWA YOSHIHIKO

UI完成 | UIプロジェクト

UI(=University Identity)とは会社の言うところのいわゆるCI(=Corporate Identity)のことで、大学としてのアイデンティティを整備、確立するプロセスを指します。本学の対外的なコミュニケーションにおいて、書体の不統一やロゴの使い方などに一定のルールがないことが学園会議などで問題となり、ビジュアルや学園のスローガンなども含めて整備が必要であるとの認識に至りました。そこで平成21年3月に大学、短大の若手職員、教員10名からなるプロジェクトチームが結成され、本学の特徴、持ち味や今後の方向性などについて話し合いを重ね、それらをもとに外部業者にデザインとタグライン(スローガン)の作成を発注いたしました。

そしてこの度、コミュニケーションマークを制定いたしました(図参照)。オレンジとピンクという暖色が本学の特徴である家族的な雰囲気を表現する一方、斜体とアンダーラインがスマートさや未来に向かって進む勢いを表しています。今後、タグラインや大学名表記の際の標準書体などを決定の後、本学の広告物やパンフレット、名刺、封筒などに順次採用していきます。なお、ユリと楯の校章は今後も大学の正式なシンボルとして使用されます。

UIプロジェクトチームリーダー 栗林 芳彦

NAGAOYA
BUNRI

CAMPUS * NEWS

全学

名古屋文理交流会を開催しました



9月12日(土)、名古屋ガーデンパレスで、臨地実習及び校外実習先の先生方、更に就職でお世話になっている企業の方々と本学担当者との名古屋文理交流会を開催しました。

初めに愛知県がんセンター研究所所長の田島和雄氏による「がんのオーダーメイド予防・医療の展望」の講演が行われました。がんについて世界的な動向や最新の知見が報告され、早期発見と一次予防の重要性、がん検診の定期的な受診の重要性を強調されました。参加者は、自分自身のことと受け止め、真剣に聴き入っていました。

その後の懇親会では、実習受け入れ先の方々から臨地実習生や校外実習生についての意見や本学に対する要望など、多くの情報交換が行われました。

参加して頂いた施設側の方は約60名で、幅広い交流ができ大変有意義な時間となりました。参加頂いた方からも、良い機会が得られましたとの意見が寄せられました。

大学

健康栄養学科

辻ゼミが食育支援出前授業を実施しました

6月16日(火)健康栄養学科の辻ゼミが稲沢市立下津小学校で食育支援出前授業を実施しました。

辻ゼミの4年生9名が、朝食について自分たちで制作した教材を使ったり、演劇を取り入れたりして児童の興味を惹きつけていました。ゼミ生の中には下津小学校の出身者もいました。

平成17年度から始まったこの食育支援活動は、毎年全員がゼミのロゴ入りポロシャツにジーンズ、白のスニーカーというスタイルで一丸となって実施しています。今年で5年になりましたが、本学健康栄養学科のひとつの伝統になりつつあります。



大学

フードビジネス学科

田んぼアート2009

【プロジェクト概要】

本学フードビジネス学科が取り組んでいる「田んぼアート」が3年目を迎えました。今年度も稲沢市のマスコットキャラクター「いなっピー(銀杏バージョン)」を2反の田んぼ一面に描きました。今年は地域の田んぼアート有志の会(稲人の会)や、地元企業(三菱電機)、国分小学校の児童たちと協力して完成させることができました。



稲沢市マスコットキャラクター「いなっピー」銀杏バージョン



※学生の感想

はじめはこれで「いなっピー」の絵ができるのかと不安でしたが、秋に消防署訓練棟から見せてもらった時は、ちゃんとした「いなっピー」の絵ができて感動しました。地元の人達と触れ合い協力してできた「いなっピー」の田んぼアートはすばらしいものとなり大変うれしいです。(フードビジネス学科2年 飯田雅)

大学

情報メディア学科

情報メディア学科の学生が「Sakae Movie Award 2009」で受賞しました

「Sakae Movie Award 2009」において情報メディア学科3年生の小久保博文さん、久保田紘文さんの2名が「NCA 名古屋コミュニケーション・アート専門学校賞」を受賞しました。授賞式は、9月20日(日)に名古屋テレビ塔で執り行われました。

ドラマ「TRICK」や映画「20世紀少年」を手掛けた堤幸彦氏が審査をするこのグランプリにおいて、今回は受賞から洩れましたが、グランプリ作品に木村仁美さん(情報メディア学科3年生)の作品がノミネートされ、堤氏より高評をいただきました。



大学

PR学科

日韓松茸PRプロジェクト



昨年の秋、韓国で行われた日韓松茸プロジェクトにPR学科の学生7名および情報メディア学科の学生5名が参加しました。

韓国のPR会社から「日本と韓国の大学で韓国松茸に関するPRのコンペを実施するが、参加してもらえないだろうか」という打診がありました。韓国東北部にある襄陽(ヤンヤン)郡は品質の高い松茸が取れることで韓国では有名ですが、コンペの主旨は日韓の大学生のチームがこの襄陽の松茸のブランド価値を高めるPR企画で競い合うというものでした。このオリエンテーションの結果、入賞を果たしました。

短大部 平成20年度の
第三者評価による
「適格認定」を
受けました

5月14日(木)に平成20年度第三者評価認定証贈呈式が行われ、財団法人短期大学基準協会理事長より「適格認定証」が交付されました。

第三者評価については、平成16年6月に学校教育法が改正され全ての短期大学に、国が認証した第三者評価機関による評価を受けることが義務付けられました。平成20年度に第三者評価を受け「適格認定」により高等教育機関としての質が保証された事になります。



短大部 より充実した教育を!
短期大学部 E館(東館)
建て替え



E館(東館)外観



電磁調理機器(IH)実習室



視聴覚教室

【東館建築のコンセプト】

名古屋文理大学短期大学部では、新しい栄養士教育に対応できる教育システムの構築と安全なキャンパスづくりを目指して、E館(東館)の建て替えを行いました。

日々進歩する調理現場に対応できる栄養士を養成するために、従来のガス調理機器実習室だけでなく電磁調理機器(IH)実習室を設け、より幅広い調理実習を展開できるようにし、更には、大画面モニターを設置し、より分かりやすい授業が可能となりました。また、各種精密機器を備えた理化学実験室、用途によって自由にレイアウトができる機能的な演習室、200名収容できる視聴覚教室を備え、より充実した教育が行えるようになりました。他にも、安全面や使いやすさに加えて、バリアフリー等も設置されています。

この、E館(東館)の建て替えの際には、名栄会・稲友会同窓会から多大なるご寄附を頂きました。大変ありがとうございました。

全学 名古屋文理
海外研修の実施



大学・短大・専門学校の第13回合同海外研修を実施しました。昨年3月には、全学から集まった17名がロサンゼルス郊外 Marymount College にて研修を行いました。全員がホームステイをし、大学での英語研修をはじめ、地域見学、現地栄養士の講演、給食施設の内部視察など、さらにハリウッドやディズニーランドにも訪れ充実した楽しい日々を過ごしました。参加者からは、「本物の英語に直に触れとても貴重な体験をすることができました。一番大事なのは英語をうまく話すことではなく、自分自身が相手と向き合って話すことなんだと感じました」と感想が寄せられています。

短大部 **専門学校** 食育講演会を開催しました

9月13日(日)、E館 第一視聴覚室で、食育講演会(名古屋文理大学短期大学部・名古屋文理栄養士専門学校主催)を開催しました。

今年度は、一般の方を対象に2つの講演会を実施しました。

第1部は中部水産株式会社販売促進部長の神谷友成氏「水産市場のおさかなマイスターが語る魚食文化」の演題で、長年の魚市場生活で培った知識と経験に基づいた魚や食にまつわる様々な話をわかりやすく説明されました。

第2部は農林水産省東海農政局消費・安全部消費・安全調査官 小笠原陽太郎氏による「食の安全・安心～食品表示ってどうなっているの～」で、昨年来の食の安全・安心に関する問題や表示違反の事例を紹介するとともに、食の安全・安心に対する国の取り組み、および正しい食品の表示法をクイズ形式にしてわかりやすく説明されました。



専門学校 スキルアップセミナー報告

昨年11月22日(土)、12月13日(土)、平成21年3月14日(土)の計3回に渡り「実践! 約束食事箋の作成と栄養指導システムの運動」と題したセミナーを、藤野敏夫先生を講師として開催しました。セミナーは医療・福祉施設の管理栄養士、栄養士を対象として、エネルギーコントロール食(糖尿病、脂質異常症など)に重点をおいて進められました。約束食事箋の作成方法や栄養指導システムの構築法、さらに参加者自らの勤務施設ごとの約束食事箋作成演習など、実務に即した盛りだくさんの内容で、総計約200人の参加者を迎えることができ、盛況のうちに終了しました。



専門学校 長谷川孝子先生が
厚生労働大臣から
表彰されました!

9月2日(水)の全国栄養改善大会において、本学教員の長谷川孝子先生が栄養士養成功労者として厚生労働大臣から表彰されました。

長年にわたり本学を拠点に地域の栄養士養成に努められたご功績が認められ、東海三県では長谷川先生お一人だけが受賞されました。

今後ますますのご活躍が期待されます。



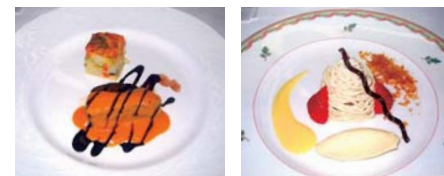
* 同窓会から

名栄会

50周年記念総会が
開催されます

名栄会は会員数が2万人を超え、平成21年度は名栄会創立50周年の記念総会を10月25日(日)にウェスティンナゴヤキャッスルホテルで開催します。総会に続く懇親会では、この日のために用意された献立を加藤敏彦会長とホテルのシェフが説明し、賞味することになっており、予想を超える数の同窓生400人以上が集う予定です。

なお昨年度には母校のE館(東館)の新築に伴い視聴覚教室充実のために1,000万円の寄附を行い、母校の発展に寄与しました。



名栄会では、以下の助成を行っています

- ①在学生(準会員)に対する支援
 - ・入学祝
 - ・クラブ活動の助成
 - ・体育祭、名栄祭の優秀者への同窓会賞贈呈
 - ・卒業式に同窓会会長賞贈呈
- ②卒業生に対する支援
 - ・同期会、クラブOB・OG会への助成



恒例の稲友祭が開催されます

稲友会は、本年度「4年制大学化10周年記念応援事業」を柱として様々な取り組みを行っています。毎年特に力を入れている学園祭への協賛については、以下の4つのイベントを実施します。この機会にぜひ母校へ足を運んでいただき、お気軽にご参加ください。

★すべて10月31日(土)開催の学園祭で実施します

1. SKE48ライブステージ 12:30~ 大学内特設ステージ

SKE48とは、作詞家でもある秋元康が総合プロデューサーを務め、名古屋で活躍するアイドルグループです。歌とダンスのステージをご覧ください。観覧は自由です。なお、当日は大変混雑が予想されることから、卒業生向け※1に優先席をご用意しています。ご希望の方は、開始15分前に特設ステージ横の専用受付へ、学園報の入った封筒をお持ち下さい。先着20名様をご案内致します。



2. 公開講座「おもしろ科学実験教室」 13:30~15:00 北館1階 エクステンションセンター

特別講師を招き、子供から大人まで楽しめる科学実験を行います。参加者の方も実験を通して、自然現象の不思議に触れ、科学を身近に感じることができる内容となっています。NBSC(名古屋文理大学サイエンスサークル)も協力しています。また、卒業生向け※1に先着10名様※2のお席を無料でご用意しています。受講希望の方は、受付へ学園報の入った封筒をお持ち下さい。



3. 稲友祭もちつき大会 11:30~ 体育館1階ラウンジ

フードビジネス学科「田んぼアート事業」の紹介と収穫米による餅つき大会及び、つきたて餅の販売を行います。卒業生の方※1はお餅を無料でお召し上がりいただけます。ご希望の方は学園報の入った封筒を会場へお持ち下さい。先着40名様に無料券をお渡しします。



4. デジタルコンテンツコンペ 10:30~ 大学内特設ステージ

学生が日頃の学習の成果を発揮する場となっており、会場では応募作品をご覧いただくことができます。当日は同窓会長賞を授与します。



※1. 1~3の卒業生向け特典は、お1人様1イベントに限らせて頂きます。
※2. およ様の同伴も可能です。

その他にも様々な事業を展開しています。リニューアルした稲友会Webサイトをご覧ください。

→ <http://www.nagoya-bunri.ac.jp/classmate/index.html>

Professor File

ぷる・ふあいる | 第1回 | “本学教員の研究内容をお伝えます。”

山田 弘明(やまだ・ひろあき)



プロフィール

昭和20年生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程・単位取得。名古屋大学文学研究科教授をへて、現在、本学情報文化学部教授。文学博士。著書に、『デカルト「省察」の研究』(創文社1994)、『真理の形而上学』(世界思想社2001)、『デカルト哲学の根本問題』(知泉書館2009)などがある。

山田弘明教授の専門は西洋近世哲学ですが、現代の倫理学(生命倫理、環境倫理)、近代日本の思想史(西田幾多郎、西周)にも関心を寄せています。授業では、哲学、倫理学のほか、フランス語、クリティカル・シンキング入門、レトリックの基礎を教えています。いま行っている仕事は、フランス17世紀の哲学者デカルトの書簡集全8巻の翻訳・研究です。当面の目標としているのは、

- 1) テキストに忠実な全訳と注解とを日本の学界に提供すること(これは本邦初!)
- 2) それを通して17世紀哲学の状況とその背景を生きた形で浮き彫りにすること
- 3) それをもとに現代思想の諸問題(ところ、他者、生命など)を解釈し直すこと

です。数人の仲間との共同作業で3~4年をかけて全巻を訳し、5・6年後には書店に、新訳がずらりと並ぶことになるでしょう。残念ながら、哲学という学問は現在世界的に退潮気味です。日本の若い哲学研究者がこの訳を抛りどころに新しい研究成果を挙げてくれることを願って、毎日研究室に通われています。

